

2023 年 3 月期 中間決算について

株式会社AIRDOは、本日 12 月 1 日(木)、2023 年 3 月期(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)中間決算をとりまとめました。詳細につきましては、別添の「2023 年 3 月期 中間決算短信(非連結)」をご覧ください。

1. 2022 年 9 月中間期(2022 年 4 月 1 日～2022 年 9 月 30 日)の業績

(1)概況及び経営成績

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響に加え、資源価格の高止まりや急激な為替変動等により、不確実性が高い状況が続きました。航空業界においては、ワクチン接種の進捗や社会経済活動の維持に向けた機運醸成等により、国内線における旅客需要の回復が鮮明となりました。

このような状況のもと当社は、感染症の発現以来取り組んできた固定費削減を継続しつつ、運航規模を感染症拡大以前の水準に戻し、回復を強める旅客需要の積極的な取り込みを図りました。

また、当社と株式会社ソラシドエア(以下、ソラシドエア)が有する経営資源(人財・技術・施設等)を効率的に活用することにより経営基盤の強化を図るべく、10 月 3 日に共同持株会社「株式会社リージョナルプラスウイングス」を設立いたしました。

これらの結果、当中間会計期間における営業収入は、コードシェアによる座席販売分を含め、20,655 百万円(前年同期比 78.2%増)となりました。

事業費は 16,838 百万円(前年同期比 27.9%増)、販売費及び一般管理費は 1,789 百万円(前年同期比 20.0%増)、営業費用は 18,628 百万円(前年同期比 27.1%増)となり、この結果、営業利益は 2,027 百万円、経常利益は 1,870 百万円、中間純利益は 2,204 百万円と、中間決算としては 3 年ぶりの黒字となりました。

(△は損失又は減少)

【経営成績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増 減	増減率(%)
営業収入 (百万円)	11,591	20,655	9,064	+78.2
営業費用 (百万円)	14,658	18,628	3,969	+27.1
営業利益 (百万円)	△3,067	2,027	5,094	—
営業利益率 (%)	△26.5%	9.8%	36.3Pt	—
経常利益 (百万円)	△3,033	1,870	4,904	—
中間純利益 (百万円)	△1,978	2,204	4,182	—

(2)運航実績、輸送実績

【運航実績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増 減	増減率(%)
運航便数 (便)	8,848	11,319	2,471	+27.9
就航率 (%)	99.4	99.1	△0.3Pt	—
定時運航率 (%)	97.5	92.1	△5.4Pt	—

【輸送実績】	前中間会計期間	当中間会計期間	増減	増減率(%)
提供座席数 (千席)	1,115	1,488	373	+33.5
旅客数 (人)	443,780	962,076	518,296	+116.8
旅客キ口 (千人キ口)	418,713	913,988	495,274	+118.3
座席キ口 (千席キ口)	1,054,620	1,405,581	350,960	+33.3

(注)輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

【路線別座席利用率】	前中間会計期間	当中間会計期間
「札幌－東京」線	42.1%	64.1%
「旭川－東京」線	33.3%	67.2%
「女満別－東京」線	37.9%	62.6%
「釧路－東京」線	44.9%	61.2%
「帯広－東京」線	47.1%	64.2%
「函館－東京」線	39.7%	66.8%
「札幌－仙台」線	25.1%	46.1%
「札幌－名古屋」線	51.5%	66.4%
「札幌－神戸」線	28.2%	81.3%
「函館－名古屋」線	32.3%	59.8%
「札幌－福岡」線	—	77.1%
路線の平均	39.7%	65.0%

(注)路線別座席利用率には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

札幌-福岡線は2022年7月1日から運航を開始いたしました。

(3)財政状態

【財政状態】	前事業年度 2022年3月31日	当中間会計期間 2022年9月30日	増減
総資産 (百万円)	48,850	45,626	△3,224
純資産 (百万円)	8,105	9,114	+1,009
1株当たり純資産 (円)	19,499.37	42,452.83	+22,953.46
自己資本比率 (%)	16.6	20.0	+3.4Pt

2. 2023年3月期の業績見通し

わが国経済は、社会経済活動の段階的な再開により緩やかな回復基調にあるものの、諸外国における金融引き締め政策及びウクライナ情勢の影響を受けた原材料価格の高騰や急激な為替変動等により、予断を許さない状況にあります。

航空業界においては、足元の旅客需要が回復しつつある一方で、感染症再拡大の懸念が続いていることに加え、働き方の変革やデジタル化の進展による行動・生活様式の変化等により今後の需要動向は不確実性が高く、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況の中でも当社は、安全運航を最優先に、2022年5月に策定した中期経営計画に沿って各施策を迅速かつ確実に実行し、「北海道の翼」として、地域に根差した新しい価値を提供し続けていくと共に、ソラシドエアとの協業と共創を通じて経営基盤の強化を図ることで、企業価値の更なる向上と持続的成長を目指してまいります。

なお、2023年3月期の業績見通しについては、現時点において合理的な算定が困難であるため未定とし、開示が可能となった時点で速やかに公表をいたします。

以上

(別添)

2023年3月期 中間決算短信 (非連結)

北海道の翼 **AIR DO**

2022年12月1日

会社名 株式会社AIRDO
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草野 晋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当 (氏名) 久安 直 TEL (011) 252-5533
半期報告書提出予定日 提出予定無し

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月中間期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月中間期	20,655	78.2	2,027	—	1,870	—	2,204	—
2021年9月中間期	11,591	48.4	△3,067	—	△3,033	—	△1,978	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月中間期	44,384.94	34,130.64
2021年9月中間期	△42,550.96	—

(注) 2021年9月中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月中間期	45,626	9,114	20.0	42,452.83
2022年3月期	48,850	8,105	16.6	19,499.37

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期	—	—	—	—	—

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

※注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) 2022年9月中間期 46,501 株 2022年3月期 46,501 株
- ② 期末自己株式数 2022年9月中間期 — 株 2022年3月期 — 株
- ③ 期中平均株式数 2022年9月中間期 46,501 株 2022年3月期 46,501 株

(参考) 種類株式の配当の状況

甲種優先株式	年間配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
2022年3月期末	—	—	—	283,835.62	283,835.62	198
2023年3月期末	—	—				

※ 中間決算短信は監査法人による中間監査の対象外です。

貸借対照表

(2022年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	21,439	流動負債	11,588
現金及び預金	17,368	営業未払金	5,148
営業未収入金	1,125	1年内返済予定の長期借入金	1,538
有価証券	200	1年内返済予定の関係会社長期借入金	900
棚卸資産	216	リース債務	2,191
前払費用	260	未払金	330
未収還付法人税等	0	未払費用	453
デリバティブ資産	1,293	未払法人税等	9
その他	976	預り金	896
固定資産	24,186	その他	121
有形固定資産	14,798	固定負債	24,922
建物	274	長期借入金	4,562
航空機	1,903	関係会社長期借入金	4,218
工具器具備品	139	リース債務	11,770
リース資産	12,311	退職給付引当金	1,040
建設仮勘定	132	航空機材整備引当金	3,331
その他	36	負債合計	36,511
無形固定資産	68	純資産の部	
ソフトウェア	68	株主資本	8,232
その他	0	資本金	100
投資その他の資産	9,318	資本剰余金	5,928
長期前払費用	5,380	資本準備金	19
繰延税金資産	3,446	その他資本剰余金	5,908
その他	491	利益剰余金	2,204
		その他利益剰余金	2,204
		繰越利益剰余金	2,204
		評価・換算差額等	881
		繰延ヘッジ損益	881
		純資産合計	9,114
資産合計	45,626	負債純資産合計	45,626

損益計算書

(自 2022 年 4 月 1 日 至 2022 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営業収入		20,655
事業費		16,838
営業総利益		3,817
販売費及び一般管理費		1,789
営業利益		2,027
営業外収益		
受取利息	1	
有価証券利息	0	
受取手数料	20	
受取助成金	38	
為替差益	12	
その他	3	76
営業外費用		
支払利息	229	
その他	3	233
経常利益		1,870
税引前中間純利益		1,870
法人税、住民税及び事業税	9	
法人税等調整額	△342	△333
中間純利益		2,204